

令和2年度 第1学年 理科 年間指導計画 予定年間授業時数： 100時間

使用教科書：大日本図書「理科の世界1年」

使用副教材：浜島書店「基礎を築く理科」 明治図書「よくわかる理科の学習」 浜島書店「理科便覧」

教科の学習目標：

- (1) 自然の事物・現象に進んでかかわろうとする態度を養う。
- (2) 目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力を育てる。
- (3) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<学習内容>

学期	学習単元(並行履修)	学習内容
1	単元1 植物の生活と種類 単元2 物質のすがた	<ul style="list-style-type: none"> ■ルーペの使い方や顕微鏡の操作方法について学習する。 ■植物の体のつくりとはたらきについて学習する。 □有機物と無機物、物質の性質や密度について学習する。 □気体の発生とその性質について学習する。
2	単元1 植物のなかま 動物のなかま 単元2 物質のすがた 単元3 身近な物理現象 単元4 大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> ■植物の分類方法について学習する。 ■動物の種類と分類方法について学習する。 □物質の状態変化、水溶液について学習する。 □光の直進性や、屈折などの光の性質について学習する。 ■火山、火成岩について学習する。 ■地震について学習する。
3	単元3 身近な物理現象 単元4 大地の変化	<ul style="list-style-type: none"> □音が伝わる仕組みについて学習する。 □水中での圧力や大気中での圧力など、力と圧力について学習する。 ■地震について学習する。 ■地層、堆積岩について学習する。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点(全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1(25%) 自然事象への関心・意欲・態度	身近な物理現象、身の回りの物質、植物の生活と種類、大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探究するとともに、事象を日常生活との関わりでみようとする。	提出物(ノート、問題集、プリントなど) 【減点】忘れ物、授業態度、提出期限遅れ
観点2(25%) 科学的な思考・表現	身近な物理現象、身の回りの物質、植物の生活と種類、大地の成り立ちと変化に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識を持って観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	定期テスト 小テスト 実験プリント
観点3(25%) 観察・実験の技能	身近な物理現象、身の回りの物質、植物の生活と種類、大地の成り立ちと変化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身につけている。	定期テスト 小テスト 実技テスト
観点4(25%) 自然事象についての知識・理解	観察や実験などを通して、身近な物理現象、身の回りの物質、植物の生活と種類、大地の成り立ちと変化に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	定期テスト 小テスト